

答 申 書

諮問事項

- 1 町立小・中学校の配置のあり方について
- 2 その他設置目的を達成するために必要なこと

諮問についての答申

- 1 町立小・中学校の配置のあり方について

学校が効果的な教育活動や学校運営を行うためには、子どもたちが集団の中で多様な考えにふれ、お互い切磋琢磨することで社会性を身につけていくことが必要である。

小規模校が多い本町小・中学校においては、集団学習活動の機会が少なく、教育活動や学校運営において適正であるとは言い難い状況にある。

今後も児童生徒数の減少が見込まれている中で、さらに欠学年や複式学級を抱える学校が増加していくことが予想される。

こうした現状を踏まえ、小・中学校の配置のあり方においては、以下のとおり統合を進めていくことが望ましいと考える。

(1) 小学校について

- ・通学時間等を考慮し、原則、旧町村単位での統合が望ましい。
- ・統合の時期については、できるだけ早い時期に実施することとし、今後も児童数の減少が続き、さらなる統合が予想されるため、現校舎を使用することが望ましい。

(2) 中学校について

- ・部活動の選択肢や集団での学習活動機会の増加などによる教育効果が高いと考えられるため、町全体における統合が望まれる。
- ・近い将来には、大成中学校を含めた統合を検討し、町として一本化した中学校の設立を検討していくことが望ましい。
- ・統合の時期については、できるだけ早い時期に実施することが望まれる。また、統合する学校の状況によっては、新校舎を建設することも含め検討することが望ましい。

以上のようなことから、町立小・中学校の適正化に向けた速やかな対応が必要であり、早急に町立小・中学校の統合に関する準備委員会を設置し、具体的な方策を決定していく必要があると考える。

2 その他設置目的を達成するために必要なこと

(1) 統合の枠組みについて

日高川町は面積が広く学校の配置も広範囲であるため、児童生徒数だけでなく、通学時間や距離に配慮した枠組みを考えることが重要である。

(2) 通学区域（学校区）の再編について

学校区の再編（旧町村単位をまたぐ再編等）についても検討していくことが望まれる。

(3) 学校統合再編時における対応について

特別な支援が必要な児童・生徒を含む全体に対し、統廃合に伴う通学時間の増加や環境の変化等による心身への影響に対し十分な配慮と対策が必要である。

(4) その他

学校規模の適正化を実施することにより多種多様な意見や仲間にもふれる機会を実現し、主体的・対話的で深い学びを実現するため特色ある学校づくりを目指す。

また、統合に際しては現行の小規模校のメリットが失われないよう特段の対応が必須である。